

令和8年1月13日  
令和7年度第4回  
上下水道事業経営審議委員会

# 令和6年度の財政状況・ 経営指標について

川崎市上下水道局

*Waterworks and Sewerage Bureau  
City of Kawasaki*

# 説明内容

---

- 1** 水道事業の財政状況
- 2** 工業用水道事業の財政状況
- 3** 下水道事業の財政状況
- 4** 経営指標について
- 5** 水道事業の経営指標
- 6** 工業用水道事業の経営指標
- 7** 下水道事業の経営指標

**参考** 経営指標値の推移

# 1 水道事業の財政状況

## ■ 令和6年度の財政状況

- 収益的収入(税抜)は約317億円と計画額よりも約3億円減少、収益的支出(税抜)は約300億円と計画額よりも約1億円増加
- 資本的収入(税込)は約75億円と計画額よりも約11億円増加、資本的支出は(税込)約174億円と計画額よりも約12億円減少

(税抜：百万円)

区分	令和6年度		増減 (b-a)	
	計画 (a)	決算 (b)		
収益的収支	収益的収入	31,975	31,675	△ 300
	水道料金	24,236	24,325	89
	その他	7,739	7,350	△ 389
	収益的支出	29,872	30,018	146
	人件費	4,904	4,813	△ 91
	受水費	8,009	8,011	2
	減価償却費等	7,554	7,200	△ 354
	支払利息等	883	873	△ 10
	その他	8,522	9,121	599
	内訳			
	委託料	3,650	4,124	474
	修繕費	2,381	2,259	△ 122
	固定資産撤去費	171	486	315
	動力費	237	320	84
	その他	2,082	1,931	△ 151
当年度純損益	2,103	1,657	△ 446	

(税込：百万円)

区分	令和6年度		増減 (b-a)	
	計画 (a)	決算 (b)		
資本的収支	資本的収入	6,400	7,455	1,055
	企業債	5,998	7,079	1,081
	負担金ほか	402	376	△ 26
	資本的支出	18,587	17,437	△ 1,150
	建設改良費	14,999	13,898	△ 1,101
	企業債償還金	3,550	3,516	△ 34
	その他	38	24	△ 14
	資本的収支差額	△ 12,187	△ 9,982	2,205
	当年度発生分補てん財源等	8,232	7,598	△ 634
	当年度資金収支	△ 1,852	△ 727	1,125
資金残高	10,447	14,411	3,964	
企業債残高	78,192	80,007	1,815	

※決算額にはR5繰越額を含む

## ■ 増減の主な理由

### 収益的収支

- その他収入の内、水道利用加入金が約4億円減少
- その他支出の内、委託料や固定資産撤去費の増加により約6億円増加

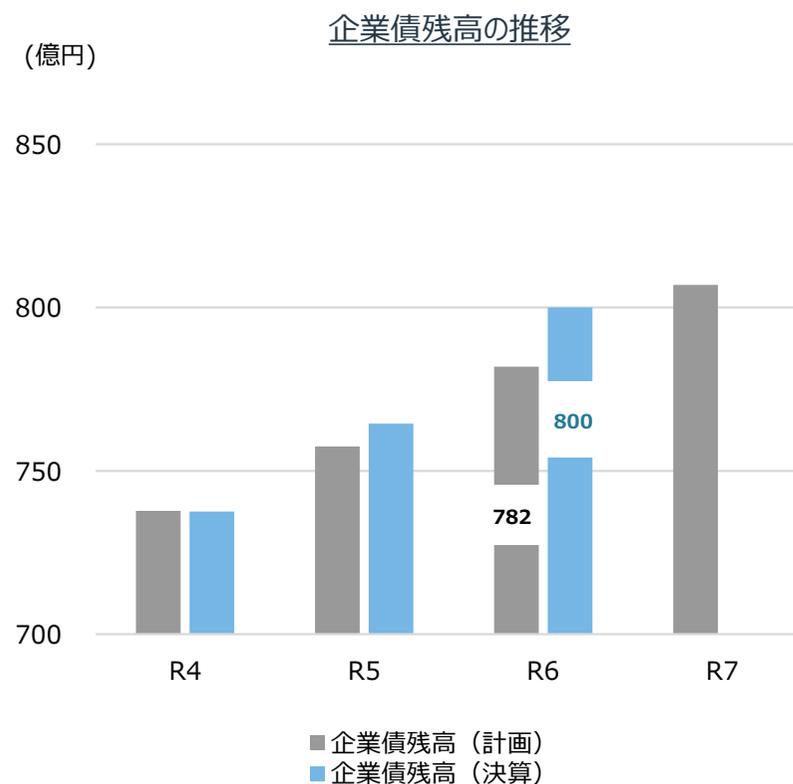
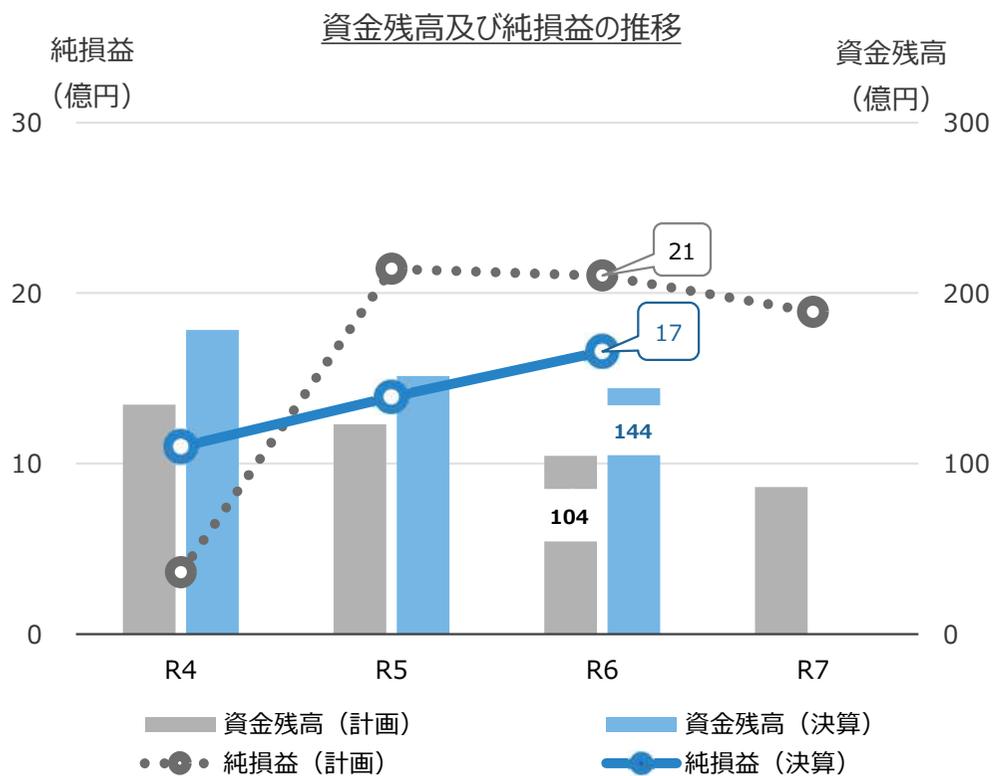
### 資本的収支

- 建設改良費は計画時より減少したものの、企業債充当率を高めたことにより企業債収入が約11億円増加

# 1 水道事業の財政状況

## ■ 令和6年度の財政状況

- 資金残高は建設改良費の繰越等により約144億円確保できているが、令和7年度以降は料金収入の減少や物価高騰等の影響により、財政状況が厳しくなることが見込まれる。
- 純損益は水道利用加入金収入の減少と固定資産撤去費等の支出の増加に伴い約17億円となり、計画額よりも約4億円減少した。
- 企業債残高は建設改良費に対する企業債充当率を高めたことにより、計画額よりも約18億円増加した。



## 2 工業用水道事業の財政状況

### 令和6年度の財政状況

- 収益的収入(税抜)は約123億円と計画額よりも約52億円の増加、収益的支出(税抜)は約66億円と計画額よりも約1億円増加
- 資本的収入(税込)は約17億円と計画額よりも約9億円の減少、資本的支出(税込)は約33億円と計画額よりも約23億円減少

(税抜：百万円)

区分	令和6年度		増減 (b-a)
	計画 (a)	決算 (b)	
収益的収入	7,093	12,327	5,234
水道料金	6,922	6,811	△ 111
その他	171	5,516	5,345
収益的支出	6,510	6,620	110
人件費	749	572	△ 177
減価償却費等	1,142	1,107	△ 35
支払利息等	85	77	△ 8
その他	4,534	4,865	331
内訳			
受水費	2,677	2,679	2
委託料	391	656	264
動力費	281	272	△ 8
その他	1,186	1,258	72
当年度純損益	583	5,707	5,124

(税込：百万円)

区分	令和6年度		増減 (b-a)
	計画 (a)	決算 (b)	
資本的収入	2,585	1,680	△ 905
企業債	1,990	1,555	△ 435
その他	595	125	△ 470
資本的支出	5,567	3,286	△ 2,281
建設改良費	4,975	2,182	△ 2,793
企業債償還金	587	588	1
その他	5	517	512
資本的収支差額	△ 2,982	△ 1,606	1,376
当年度発生分補てん財源等	1,496	1,161	△ 335
当年度資金収支	△ 903	5,262	6,165
資金残高	7,027	15,708	8,681
企業債残高	9,724	7,492	△ 2,232

※決算額にはR5繰越額を含む

### 増減の主な理由

#### 収益的収支

- その他収入の内、減量負担金制度導入に伴う負担金収入により約53億円の増加

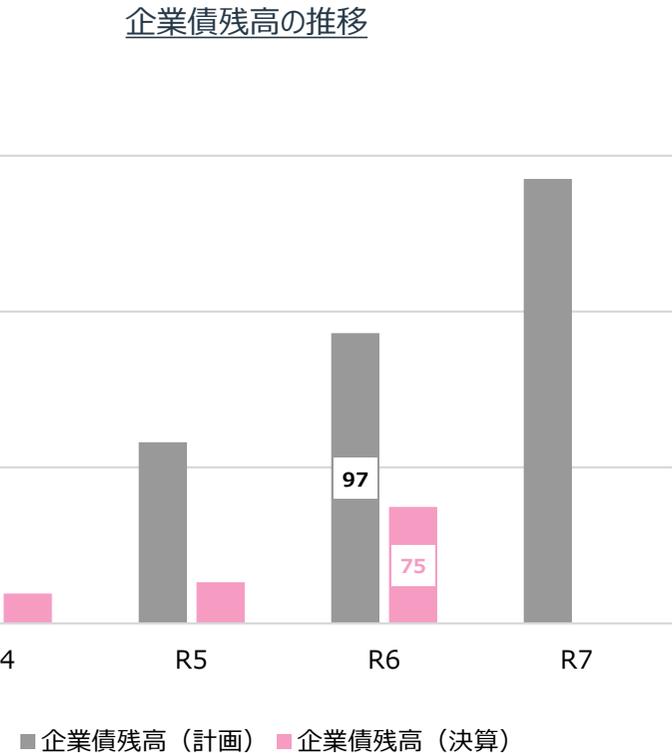
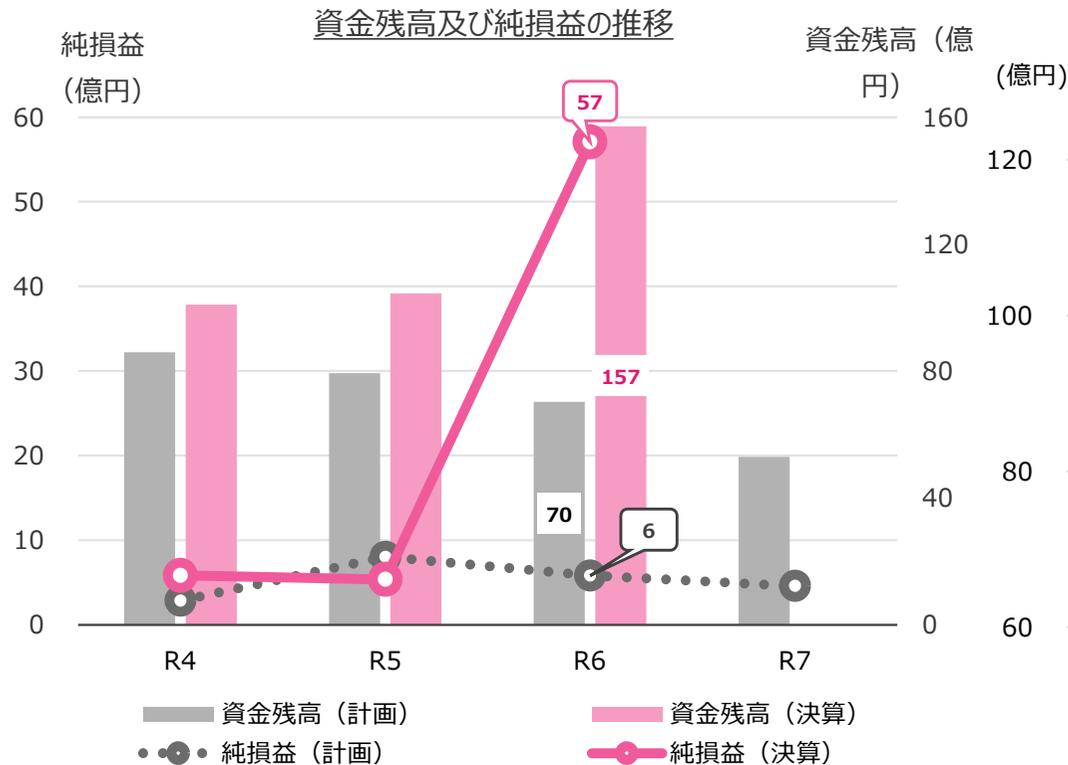
#### 資本的収支

- 送水連絡管布設工事の工期の見直し等により建設改良費が約28億円減少
- その他支出の内、資金の運用に伴う投資費用により約5億円増加

## 2 工業用水道事業の財政状況

### ■ 令和6年度の財政状況

- 資金残高は、令和7年1月からの減量負担金制度導入に伴う負担金収入等により、計画額よりも約87億円増加し、経営状況の安定化が図られた。
- 純損益は、減量負担金収入により、計画額よりも約51億円増加した。
- 企業債残高は建設改良費の減少に伴う企業債発行額の減少により、計画額よりも約22億円減少した。



# 3 下水道事業の財政状況

## 令和6年度の財政状況

- 収益的収入(税抜)は約423億円と計画額よりも約4億円減少、収益的支出(税抜)は約397億円と計画額よりも約3億円減少
- 資本的収入(税込)は約383億円と計画額よりも約22億円増加、資本的支出(税込)は約595億円と計画額よりも約22億円増加

(税抜：百万円)

区分	令和6年度		増減 (b-a)
	計画 (a)	決算 (b)	
収益的収入	42,721	42,304	△ 417
下水道使用料	21,891	21,909	18
一般会計負担金等	12,053	12,018	△ 35
長期前受金戻入	7,488	7,471	△ 17
その他	1,289	905	△ 384
収益的支出	40,014	39,740	△ 274
人件費	3,201	2,949	△ 252
減価償却費等	24,636	24,184	△ 452
支払利息等	1,929	1,883	△ 46
その他	10,248	10,724	476
内訳			
委託料	2,819	2,674	△ 145
動力費	1,639	2,314	674
工事請負費	1,925	1,817	△ 108
負担金	1,762	1,917	155
固定資産撤去費	729	505	△ 224
その他	1,374	1,497	123
当年度純損益	2,707	2,564	△ 143

(税込：百万円)

区分	令和6年度		増減 (b-a)
	計画 (a)	決算 (b)	
資本的収入	36,156	38,306	2,150
企業債	29,544	30,053	509
国庫補助金	6,000	7,564	1,564
一般会計出資金	13	3	△ 10
その他	599	687	88
資本的支出	57,314	59,512	2,198
建設改良費	22,000	24,344	2,344
企業債償還金	32,101	31,934	△ 167
その他	3,213	3,234	21
資本的収支差額	△ 21,158	△ 21,206	△ 48
当年度発生分補てん財源等	18,503	18,076	△ 427
当年度資金収支	52	△ 566	△ 618
資金残高	6,121	6,828	707
企業債残高	274,919	270,726	△ 4,193

※決算額にはR5繰越額を含む

## 増減の主な理由

### 収益的収支

- 物価高騰による単価変動の影響により、動力費が約7億円増加

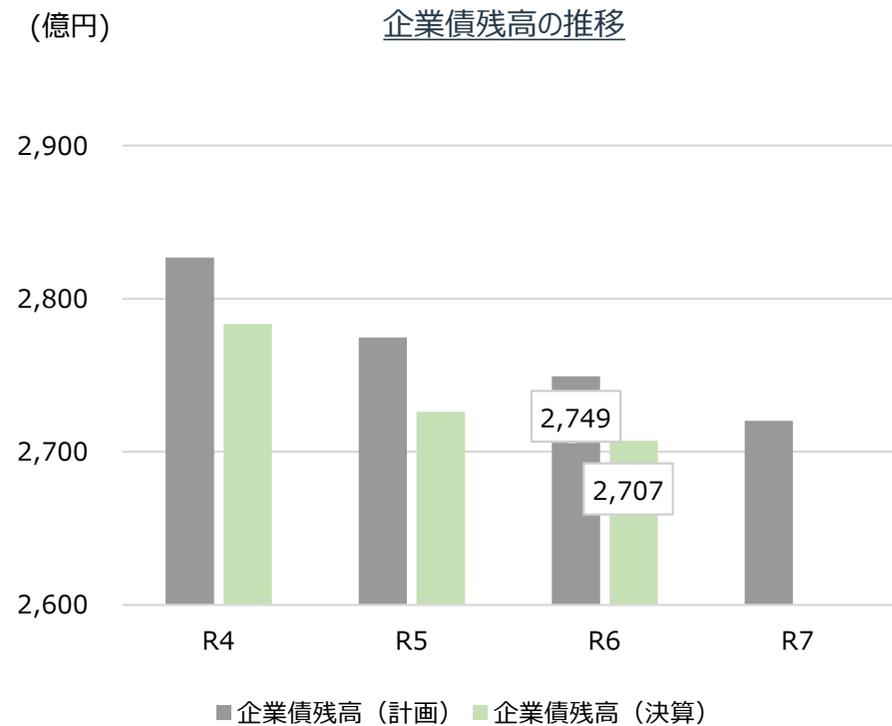
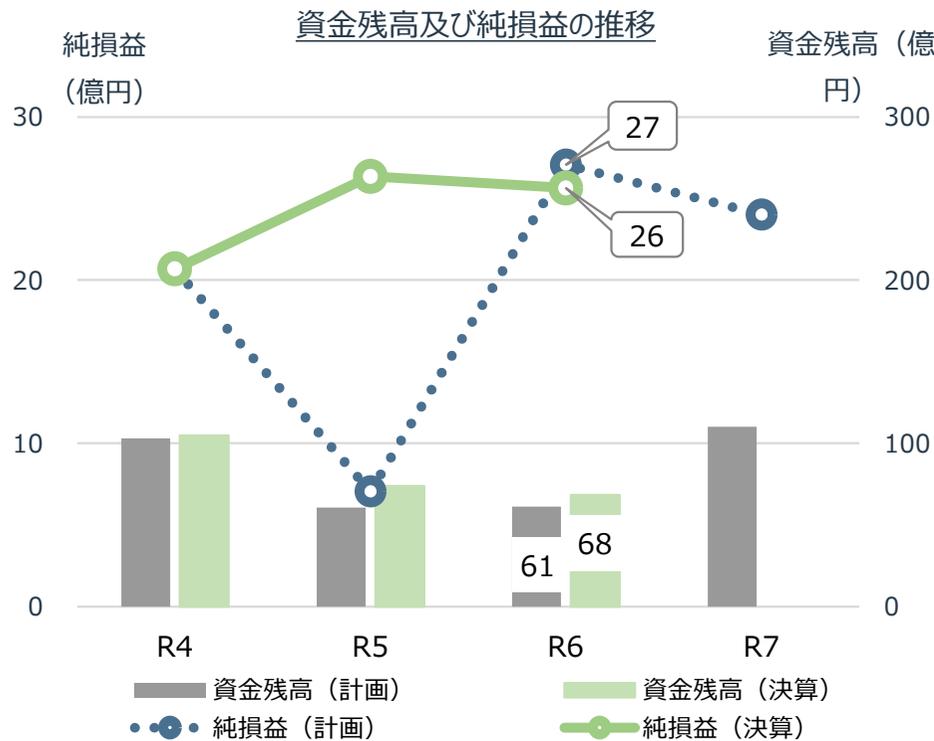
### 資本的収支

- 建設改良費は前年度からの繰越等により約23億円増加
- 建設改良費の増加に伴い国庫補助金も約16億円増加

# 3 下水道事業の財政状況

## 令和6年度の財政状況

- 資金残高は建設改良費の繰越等により、約68億円確保できているが令和7年度以降は物価高騰等の影響により、財政状況が厳しくなることが見込まれる。
- 純損益は物価高騰等の影響により動力費が増加しているものの、固定資産撤去費や減価償却費等が減少したことから、約1億円減少した。
- 企業債残高は、集中的な下水道整備時に発行した企業債の償還額が未だ高水準にあることから、縮減を図っている。



## 4 経営指標について

- 本市の上下水道事業の経営の現状を「見える化」するため、川崎市上下水道事業中期計画（2022～2025）で設定した経営指標について、本市の**令和6年度の指標値**を算出し、類似団体平均値と本市の指標値の比較から見える**本市の特徴**を記載しています。

※ 類似団体平均値については、**総務省と同様の方法により、本市が独自に算出した暫定値**であり、後日、総務省が公表する数値と誤差が生じる場合があります。

※ 類似団体ごとにおかれている条件等が異なるため、平均値との比較結果をもって**本市の良否の判定や優劣を競うことを目的とするものではありません。**

### ○類似団体平均値算出における対象団体

事業名	類似団体区分	対象団体	団体数
水道事業	政令市等	東京都、政令指定都市 (相模原市を除く)	20
工業用水道事業	大規模	現在配水能力規模：200,000m <sup>3</sup> /日以上	28
下水道事業	政令市等	東京都、政令指定都市	21

# 5 水道事業の経営指標（指標値の推移）

分析の観点	指標 (解説)	望ましい方向	指標値					
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	類似団体平均 (2024)
① 経営の安定性	経常収支比率 (%)	↑	110.9	106.0	103.6	104.5	105.4	<b>106.4</b>
	経常費用が経常収益でどの程度賄えているかを示す指標 数値が高いほど経営の安全度が高く健全であるといえる。							
	企業債償還元金対減価償却費比率 (%)	↓	60.4	61.5	64.4	58.4	57.2	<b>46.9</b>
	企業債の償還財源としての減価償却費の割合を示す指標 一般的には、数値が低いほど資金的に余裕があるといえる。							
	企業債残高対給水収益比率 (%)	↓	280.2	292.9	305.8	315.2	328.9	<b>199.1</b>
給水収益に対する企業債残高の割合を示す指標 数値が低いほど経営の安全度が高く健全であるといえる。								
② 施設の効率性	施設利用率 (%)	↑	67.4	66.2	65.2	65.0	65.1	<b>59.4</b>
	水道施設の経済性を総括的に判断する指標 数値が高いほど、施設が効率的に利用されているといえる。							
	負荷率 (%)	↑	92.1	93.0	94.6	94.6	94.5	<b>93.7</b>
	水道事業の施設効率を判断する指標 数値が高いほど、施設が効率的に利用されているといえる。							
有収率 (%)	↑	92.8	93.7	93.5	93.5	93.8	<b>93.7</b>	
水道施設及び給水装置を通じて送られる給水量がどの程度収益につながっているかを示す指標 数値が高いほど、収益性の高い施設といえる。								

- ◆ 「経常収支比率」は類似団体平均より低い水準にあるものの、過去5年間においては健全な経営の水準となっている100%を上回っています。
- ◆ 「企業債残高対給水収益比率」は増加傾向で推移していることから、料金収入に対する企業債残高の割合が増加しているといえます。

## 5 水道事業の経営指標（指標値の推移）

11

分析の 観点	指標 (解説)	望ましい 方向	指標値					
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	類似団体 平均 (2024)
③ 料金	給水原価（円）	↓	161.9	170.6	174.3	174.2	172.7	189.6
	有収水量1㎡当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを示す指標 低額である方が水道事業体にとっても水道使用者にとっても望ましい。							
	供給単価（円）	↓	143.0	142.9	142.9	143.9	144.0	180.6
	有収水量1㎡当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標 低額である方が水道サービスの観点からは望ましい。							
料金回収率（％）	↑	88.4	83.8	82.0	82.6	83.3	95.3	
供給単価の給水原価に対する割合を示す指標 数値が100%を下回っている場合、給水に係る費用の一部が料金収入 以外の収入で賄われていることを意味する。								
④ 老朽化	有形固定資産減価償却率（％）	↓	49.8	49.6	49.5	49.4	49.0	51.7
	資産の減価償却費の割合を示す指標 数値が高いほど減価償却は進んでおり、資産の老朽化が進行している。							
	管路経年化率（％）	↓	28.2	28.0	28.1	27.7	27.8	29.5
	法定の耐用年数を超えた管路延長の総延長に対する割合を示す指標 数値が高いほど古い管路が多いが使用の可否を示すものではない。							
管路更新率（％）	↑	1.68	2.13	1.89	1.81	1.64	0.86	
年間で更新した管路延長の総延長に対する割合を示す指標 この数値の逆数が、管路を全て更新するのに必要な年数を示す。								

- ◆ 「給水原価」は令和4年度まで増加して以降横ばいで推移しておりますが、類似団体平均を下回っています。
  - ◆ 「料金回収率」が100%を下回って推移していることから、給水に係る費用を料金収入で賄うことができていないといえます。
- ※ 費用の一部を水道利用加入金等の料金収入以外の附帯収入で賄っています。

# 5 水道事業の経営指標（平均値との比較）

— R6類似団体平均  
— R6川崎市

※類似団体平均を「1」として比較  
 ※外側が望ましい方向

**④老朽化**

管路更新率

経常収支比率

企業債償還元金  
対減価償却費比率

**①経営の安定性**

管路経年化率

企業債残高  
対給水収益比率

有形固定資産  
減価償却率

施設利用率

料金回収率

負荷率

**③料金**

供給単価

有収率

**②施設の効率性**

給水原価

## 主な特徴

- ◆ 「①経営の安定性」の観点では、類似団体平均と比較して料金収入に対する企業債残高が多くなっているといえます。
- ◆ 「③料金」の観点では、類似団体平均と比較して低廉な料金となっているといえます。
- ◆ 「④老朽化」の観点では、類似団体平均と比較して早いサイクルでの管路更新が行えているといえます。

## 6 工業用水道事業の経営指標（指標値の推移）

13

分析の 観点	指標 (解説)	望ましい 方向	指標値					
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	類似団体 平均 (2024)
① 経営の 安定性	経常収支比率 (%)	↑	108.7	110.7	109.0	107.5	105.4	111.8
	経常費用が経常収益でどの程度賄えているかを示す指標 数値が高いほど経営の安全度が高く健全であるといえる。							
	企業債償還元金対減価償却費比率 (%)	↓	70.2	65.6	63.9	63.7	60.4	48.3
	企業債の償還財源としての減価償却費の割合を示す指標 一般的には、数値が低いほど資金的に余裕があるといえる。							
	企業債残高対給水収益比率 (%)							
給水収益に対する企業債残高の割合を示す指標 数値が低いほど経営の安全度が高く健全であるといえる。	108.9	99.8	92.8	95.2	110.0	214.2		
② 施設の 効率性	施設利用率 (%)	↑	74.5	76.7	74.6	68.5	63.3	55.5
	工業用水道施設の経済性を総合的に判断する指標 数値が高いほど、施設が効率的に利用されているといえる。							
	契約率 (%)	↑	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	81.0
	適正な規模の施設を保有しているかなどを判断する指標 数値が高いほど、効率性が高いといえる。							
有収率 (%)	↑	99.6	99.2	99.0	98.8	98.0	99.5	
工業用水道施設を通じて送られる給水量がどの程度収益につながっているかを示す指標 数値が高いほど、収益性の高い施設といえる。								

- ◆ 「経常収支比率」は類似団体平均より低い水準にあるものの、過去5年間においては健全な経営の水準となっている100%を上回っています。
- ◆ 「企業債残高対給水収益比率」は令和4年度以降増加しており、料金収入に対する企業債残高の割合が増加しているといえます。

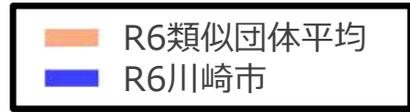
## 6 工業用水道事業の経営指標（指標値の推移）

14

分析の観点	指標 (解説)	望ましい方向	指標値					類似団体平均 (2024)
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
③ 料金	給水原価（円） 有収水量1㎡当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを示す指標 低額である方が工業用水道事業体にとっても水道使用者にとっても望ましい。	↓	33.8	33.1	33.6	33.8	34.4	18.5
	供給単価（円） 有収水量1㎡当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標 低額である方が工業用水道サービスの観点からは望ましい。	↓	36.4	36.4	36.3	36.1	36.0	20.1
	料金回収率（%） 供給単価の給水原価に対する割合を示す指標 数値が100%を下回っている場合、給水に係る費用の一部が料金収入以外の収入で賄われていることを意味する。	↑	107.8	110.0	108.0	106.7	104.5	105.5
④ 老朽化	有形固定資産減価償却率（%） 資産の減価償却費の割合を示す指標 数値が高いほど減価償却は進んでおり、資産の老朽化が進行している。	↓	59.7	61.6	62.8	62.9	63.6	62.3
	管路経年化率（%） 法定の耐用年数を超えた管路延長の総延長に対する割合を示す指標 数値が高いほど古い管路が多いが使用の可否を示すものではない。	↓	87.7	87.7	87.7	86.9	86.9	56.2
	管路更新率（%） 年間で更新した管路延長の総延長に対する割合を示す指標 この数値の逆数が、管路を全て更新するのに必要な年数を示す。	↑	0.46	0.00	0.00	1.81	0.00	0.83

- ◆ 「料金回収率」は類似団体平均より低い水準にありますが、100%を上回る状況が続いており、工業用水の給水に係る費用を料金収入で賄えているといえます。
- ◆ 「有形固定資産減価償却率」が増加傾向で推移していることから、資産の老朽化が進行しているといえます。
- ※ 「管路更新率」の算出に用いる「更新した管路延長」は、更新工事の完成年度に計上します。本市は中大口径の管路が多く、更新工事が複数年度にわたるため更新率が「0」の年度がありますが、管路更新は計画的に進めています。

# 6 工業用水道事業の経営指標（平均値との比較）



※類似団体平均を「1」として比較  
 ※外側が望ましい方向

④老朽化

管路更新率

経常収支比率

企業債償還元金  
対減価償却費比率

①経営の安定性

管路経年化率

企業債残高  
対給水収益比率

有形固定資産  
減価償却率

施設利用率

料金回収率

契約率

③料金

供給単価

有収率

②施設の効率性

給水原価

## 主な特徴

- ◆ 「①経営の安定性」の観点では、類似団体平均と比較して料金収入に対する企業債残高が少なくなっているといえます。
- ◆ 「②施設の効率性」の観点では、類似団体平均と比較して施設を効率的に利用できているといえます。
- ◆ 「③料金」の観点では、類似団体平均と比較して有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの費用及び料金が高くなっているといえます。

## 7 下水道事業の経営指標（指標値の推移）

16

分析の観点	指標 (解説)	望ましい方向	指標値					
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	類似団体 平均 (2024)
① 経営の安定性	経常収支比率 (%)	↑	110.6	107.0	103.8	105.0	105.1	<b>103.5</b>
	経常費用が経常収益でどの程度賄えているかを示す指標 数値が高いほど経営の安全度が高く健全であるといえる。							
	企業債償還元金対減価償却費比率 (%)	↓	122.0	139.1	123.9	130.0	138.0	<b>106.7</b>
	企業債の償還財源としての減価償却費の割合を示す指標 一般的には、数値が低いほど資金的に余裕があるといえる。							
	企業債残高対事業規模比率 (%)	↓	734.8	711.4	697.1	673.6	672.6	<b>481.4</b>
下水道使用料に対する企業債残高の割合を示す指標 数値が低いほど経営の安全度が高く健全であるといえる。								
② 施設の効率性	施設利用率 (%)	↑	51.3	50.4	49.2	46.5	47.7	<b>59.3</b>
	下水道施設の経済性を総合的に判断する指標 一般的に、この数値は高い方がよいとされる。							
	最大稼働率 (%)	↑	66.1	62.1	63.5	62.9	61.1	<b>84.1</b>
	下水道施設の利用状況や適正規模を判断する指標 数値が高いほうがよいとされるが、100%に近づくと施設能力に余裕がない状態であるといえる。							
	有収率 (%)	↑	84.6	85.3	85.9	85.9	84.1	<b>78.6</b>
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水量の割合を示す指標 数値が高いほど使用料徴収対象にできない不明水が少なく、効率的であるといえる。								

- ◆ 「経常収支比率」は減少傾向にあります。過去5年においては、健全な経営の水準となっている100%を上回っています。
- ◆ 「企業債残高対事業規模比率」は減少傾向で推移しておりますが、類似団体平均を上回る水準にあり、使用料収入に対する企業債残高の割合が依然として高い状況であるといえます。

## 7 下水道事業の経営指標（指標値の推移）

17

分析の 観点	指標 (解説)	望ましい 方向	指標値					
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	類似団体 平均 (2024)
③ 使用料	汚水処理原価（円）	↓	118.2	126.6	135.6	134.1	133.3	130.1
	有収水量1㎡当たりについて、汚水処理費用がどれだけかかっているかを示す指標 数値が低いほど、汚水処理費用を抑えられているといえる。							
	使用料単価（円）	↓	142.3	142.0	143.0	144.9	144.5	130.0
有収水量1㎡当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標 低額である方が下水道サービスの観点からは望ましい。								
	経費回収率（%）	↑	120.4	112.1	105.4	108.0	108.4	103.5
	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄っているかを示す指標 数値が100%を下回っている場合、汚水処理費用が使用料以外の収入で賄われていることを意味する。							
④ 老朽化	有形固定資産減価償却率（%）	↓	50.2	51.8	53.2	54.1	55.2	53.4
	資産の減価償却費の割合を示す指標 数値が高いほど減価償却は進んでおり、資産の老朽化が進行している。							
	管きよ老朽化率（%）	↓	8.0	8.8	10.0	10.7	12.5	18.7
	法定の耐用年数を超えた管きよ延長の総延長に対する割合を示す指標 数値が高いほど古い管きよが多いが使用の可否を示すものではない。							
	管きよ改善率（%）	↑	0.24	0.20	0.19	0.20	0.17	0.37
	年間で更新した管きよ延長の総延長に対する割合を示す指標 この数値の逆数が、管きよを全て更新するのに必要な年数を示す。							

- ◆ 「汚水処理原価」は令和4年度まで増加して以降横ばいで推移しており、汚水処理に係る費用が高い状況が続いているといえます。
- ◆ 「経費回収率」は100%を上回って推移しており、現状では、汚水処理に要する経費を使用料収入で賄うことができているといえます。
- ◆ 「有形固定資産減価償却率」及び「管きよ老朽化率」が増加傾向で推移していることから、資産の老朽化が進行しているといえます。

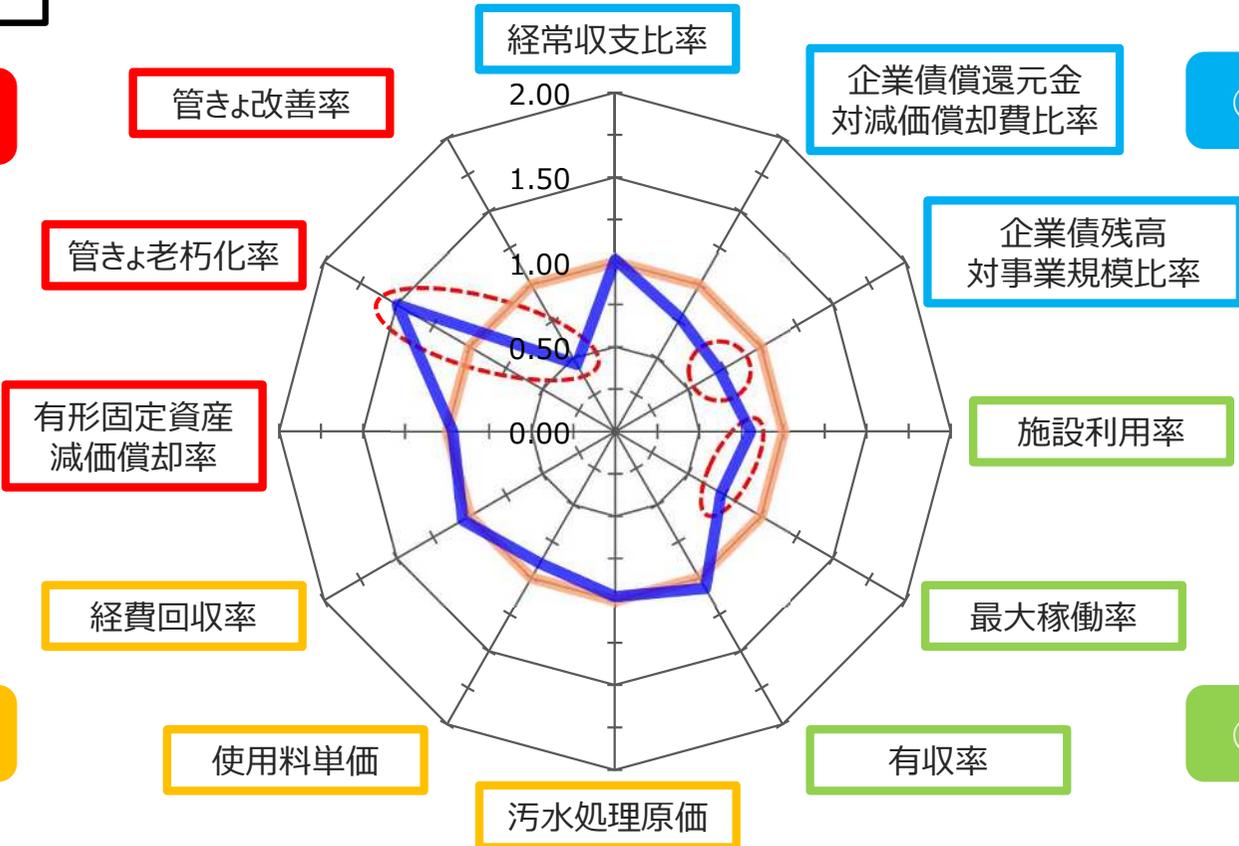
# 7 下水道事業の経営指標（平均値との比較）

— R6類似団体平均  
— R6川崎市

※類似団体平均を「1」として比較  
※外側が望ましい方向

**④老朽化**

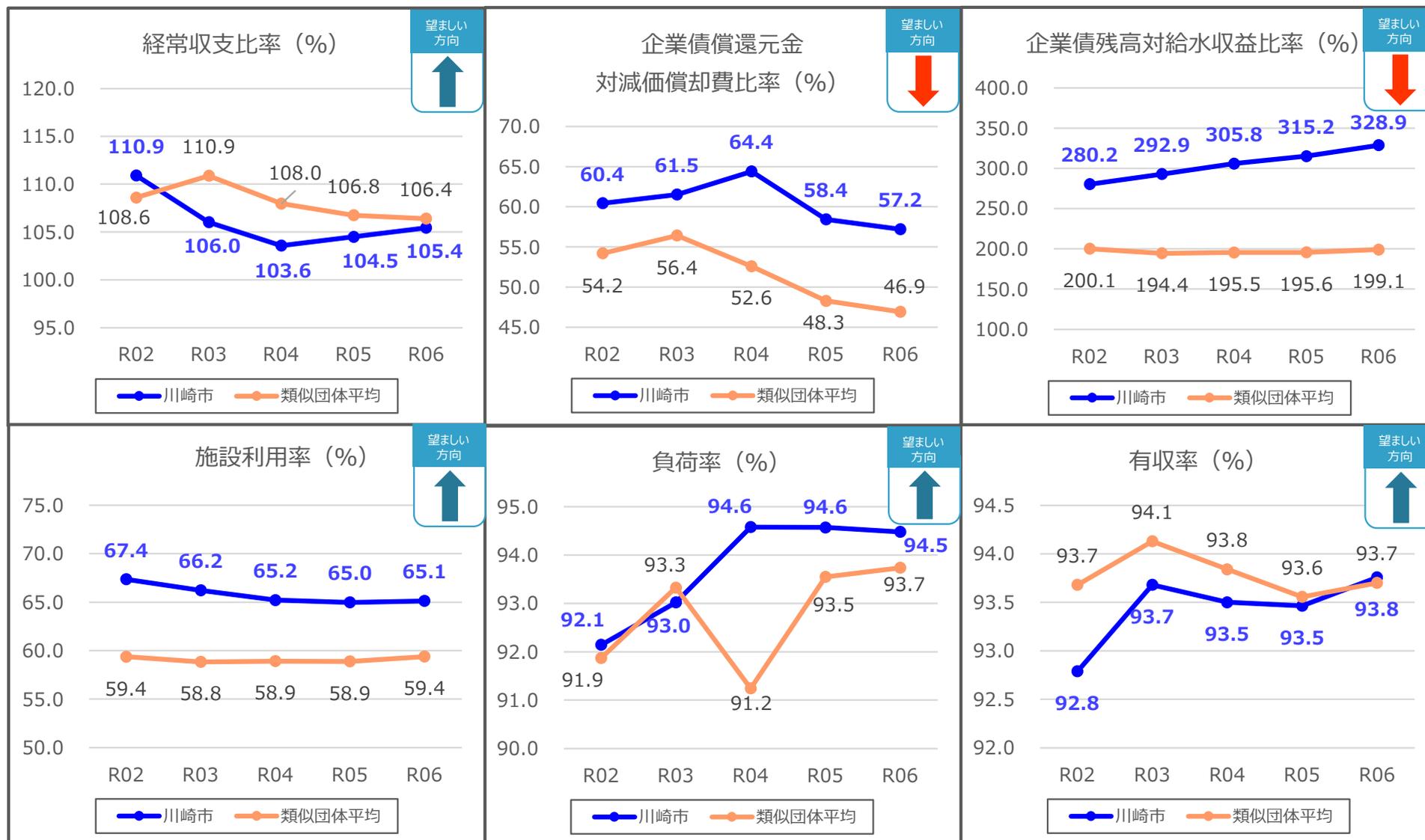
**①経営の安定性**



## 主な特徴

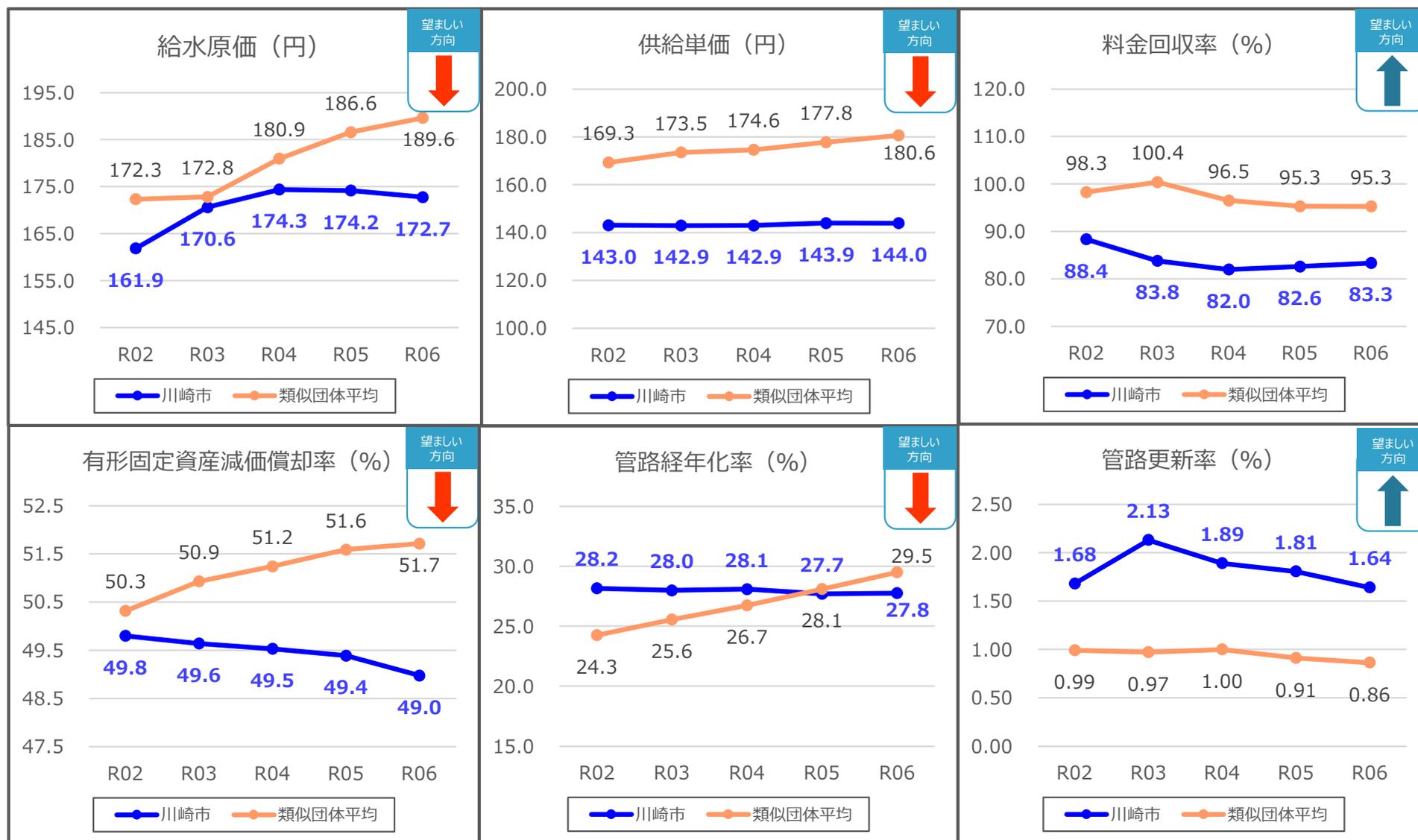
- ◆ 「①経営の安定性」の観点では、類似団体平均と比較して使用料収入に対する企業債残高が多くなっているといえます。
- ◆ 「②施設の効率性」の観点では、類似団体平均と比較して低い水準にあるといえます。
- ◆ 「④老朽化」の観点では、類似団体平均と比較して遅いサイクルでの管きよ更新となっているものの、古い管きよの割合が少ないといえます。

# 参考 水道事業の経営指標値の推移



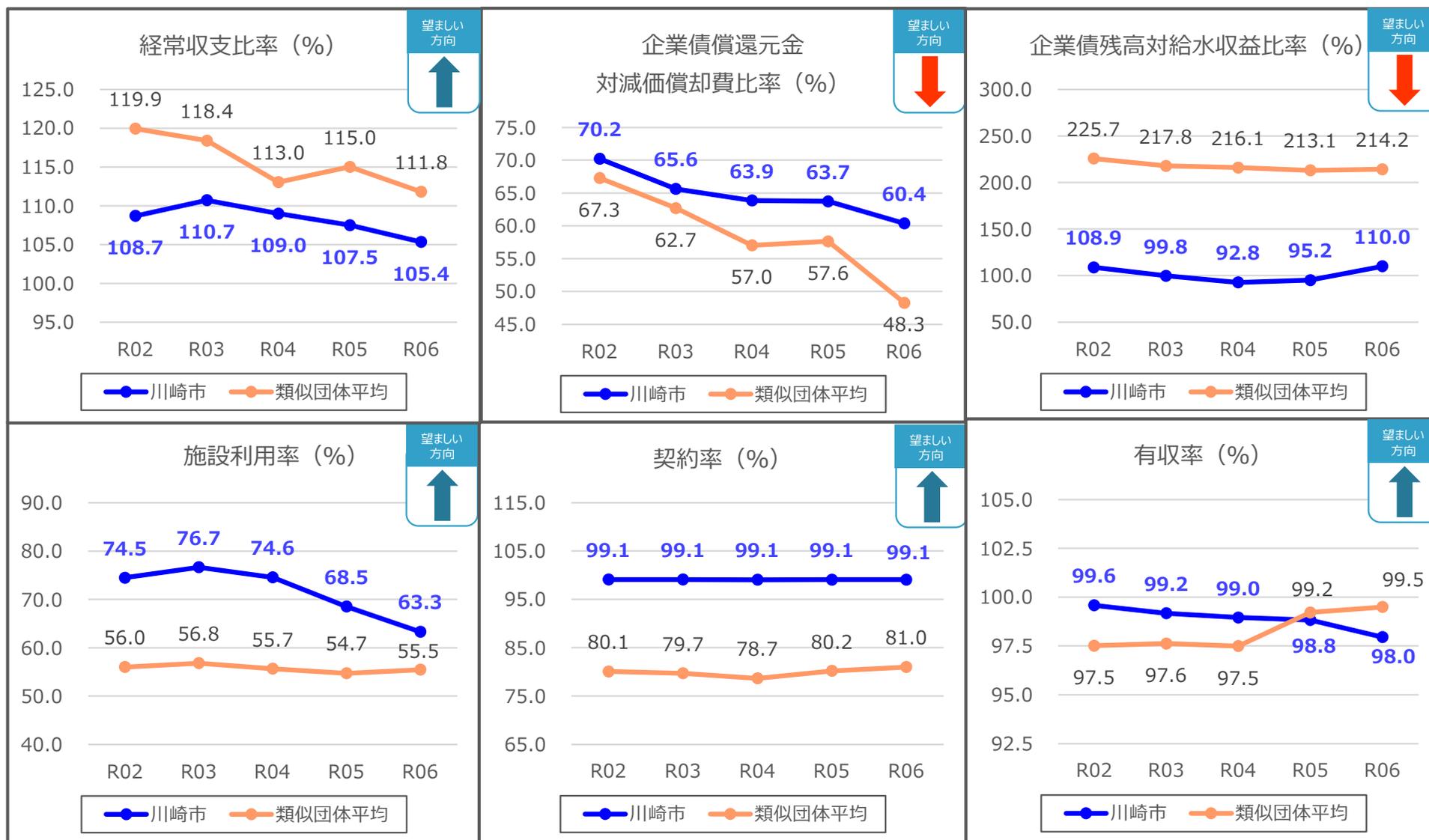
※「類似団体平均値」は本市で独自に算出した数値のため、誤差が生じる場合があります。

# 参考 水道事業の経営指標値の推移



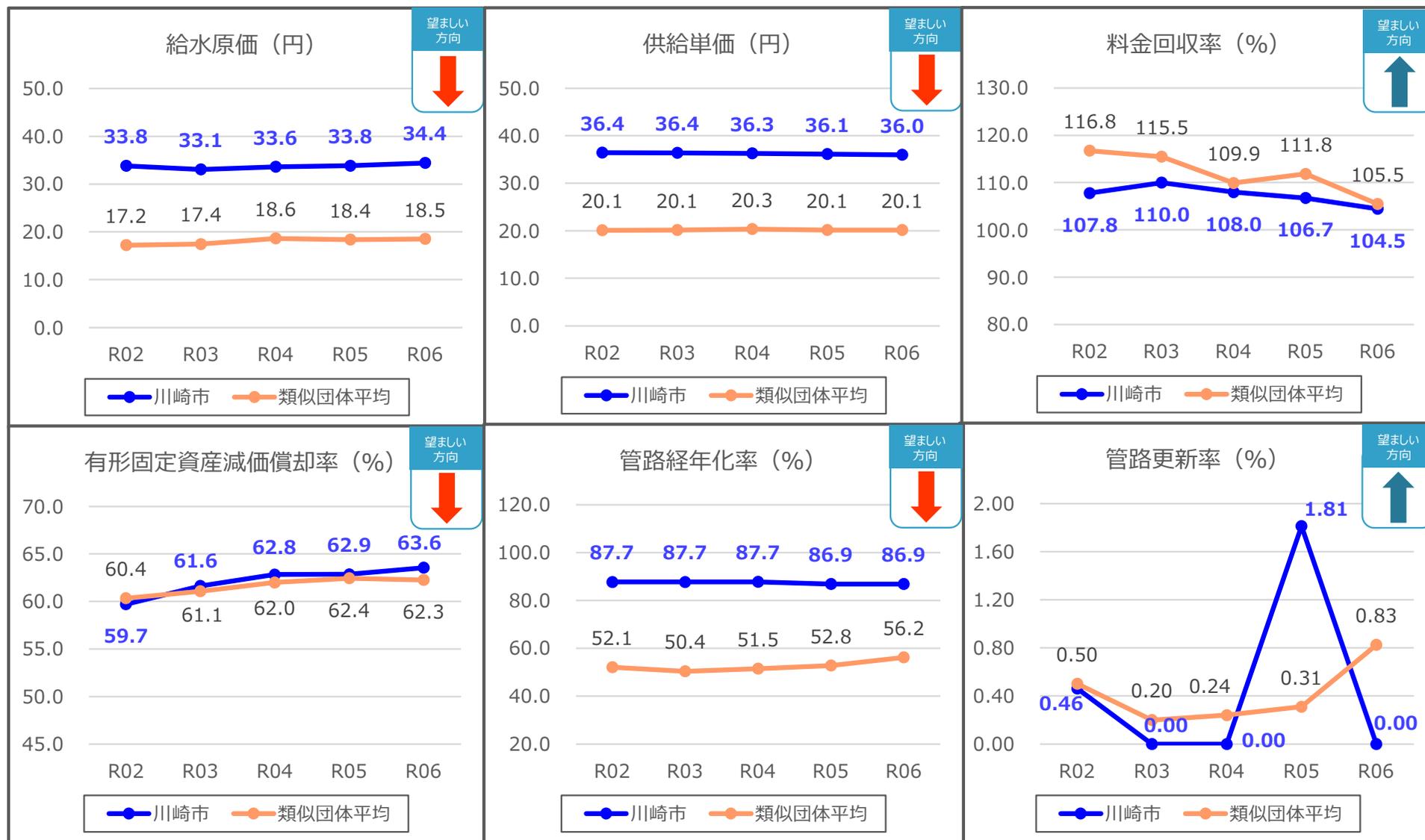
※「類似団体平均値」は本市で独自に算出した数値のため、誤差が生じる場合があります。

# 参考 工業用水道事業の経営指標値の推移



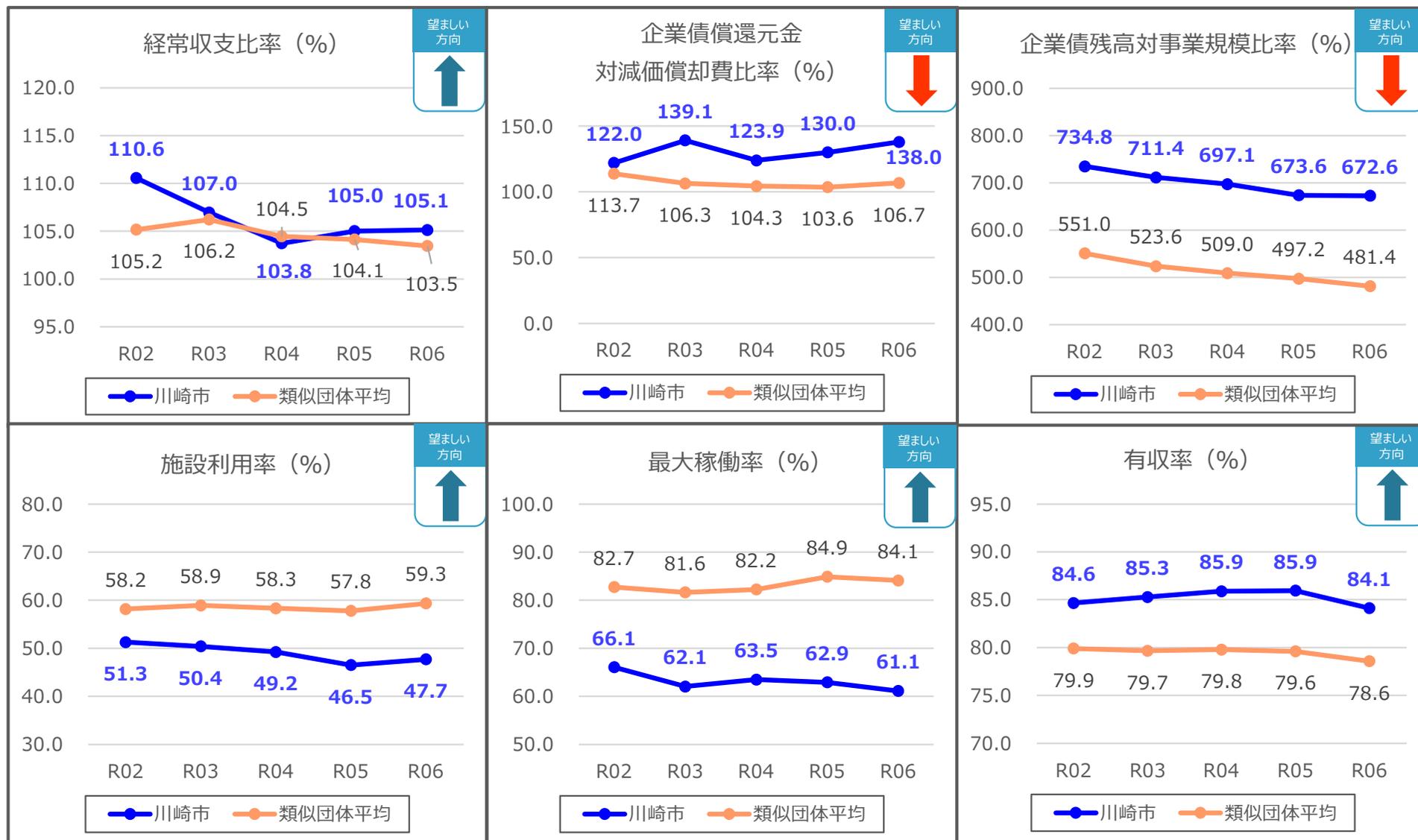
※「類似団体平均値」は本市で独自に算出した数値のため、誤差が生じる場合があります。

# 参考 工業用水道事業の経営指標値の推移



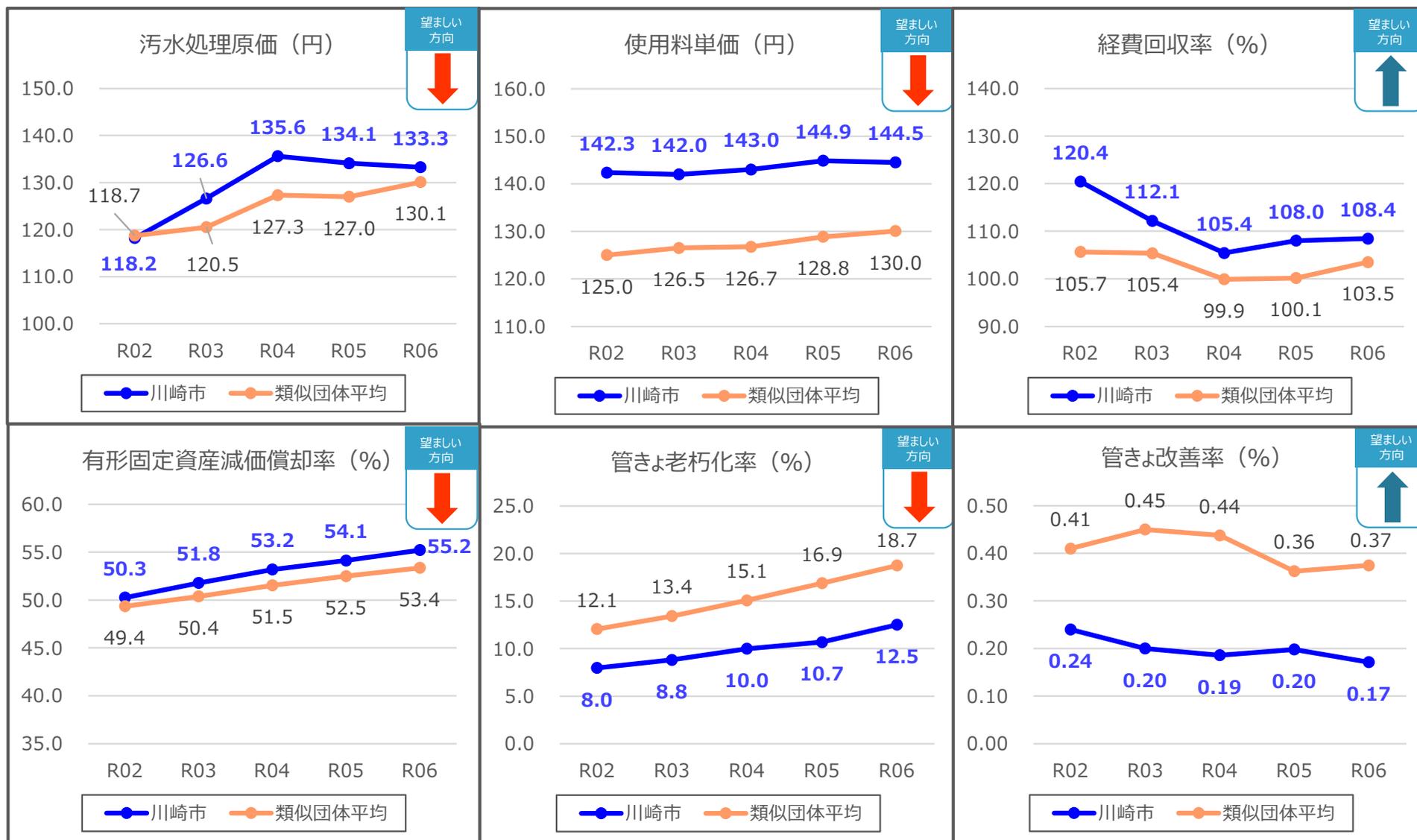
※「類似団体平均値」は本市で独自に算出した数値のため、誤差が生じる場合があります。

# 参考 下水道事業の経営指標値の推移



※「類似団体平均値」は本市で独自に算出した数値のため、誤差が生じる場合があります。

# 参考 下水道事業の経営指標値の推移



※「類似団体平均値」は本市で独自に算出した数値のため、誤差が生じる場合があります。

# 川崎市上下水道局

*Waterworks and Sewerage Bureau  
City of Kawasaki*